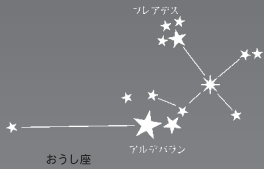


ポラリスを仰ぐ北の大地から



日本最北より

宗谷医師会 会長 櫻井 晴邦

こんにちは、今年の4月より宗谷医師会会長を任されています櫻井です。

まず皆様にご報告となりますが、去年4月宗谷医師会総会最中に(周囲が皆医者で良かった)前会長高橋先生が倒れられました。

その後も1年リハビリ等で頑張られておりましたが、やはり会長は難しいとのこと、まだまだ若い50歳代であり、あと数期お願いしたかったのですが。

で私が今回命じられた次第です。

まず8月30日に道北ブロック会議という大きな仕事が稚内でありました。いろいろ準備も大変だったのですが、これも無事終わり一段落。長瀬会長も札幌からお疲れ様でした。

翌日は晴天にも恵まれゴルフ組も良かったことと思います。

稚内地区は市の誘致、助成金もあり、ここ数年の間に3名の個人開業医の先生方にありがたく新規に来ていただいております。

しかしながら前高橋会長も長期休診中であり、とても増えている状態とは言えません。

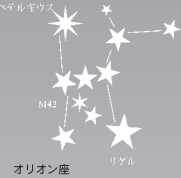
気がつけば市内での開業歴ナンバー3の長老?となり、医師会長職、それに伴う膨大な未知との遭遇役職?

また昔と違い医師会の会計経理の運営も厳しい状態で、他の会員数が少ない医師会さんもどうしているのかご指導願いたいです。

しばらくは、にっちもさっちもどうにも状態だと思います。これから寒い冬もむかえ皆様温かく見守ってください。

北極星

こくま座



当医師会の新しい試み

根室市外三郡医師会 会長 杉木 博幸

根室管内は、対人口医師数が全国平均の約半数程度と少なく、人口減少や高齢化も着実に進んできており、医療環境は非常に厳しい状況にある。嬉しいニュースとして平成25年1月に市立根室病院が市民待望の中、新築オープンした。これを機に市立病院の医師と市内医療機関の医師とが、互いの顔が見える関係、相互理解ができていく関係を構築し、より連携を深めていくことになる、との認識のもと「医療連携ねむろ会」を同年10月に発足させた。症例検討など勉強会のあと懇親会を開催し、根室の美味しい料理とお酒で情報交換と親睦を深めるのである。現在まで3回開催したが、予想以上に医療機関相互、医師相互の連携が着実に図られるようになり、患者さんにも大きなメリットとなった。今後も医療や保健・福祉に関わるさまざまな協働した活動が、より円滑に行われることと期待をしている。

平成25年10月、北海道医師会の「地域医療を担う青少年育成事業医療講演会」が中標津町で開催された。参加された中学生の皆さんが、さまざまな医療機器に触れながら医療体験をするに従い、目や表情が輝いていくのが分かった。長瀬会長の「医療過疎の問題を解決するには、将来その地域の医療を担う青少年をいかに育成するかが課題であり、まさに教育の問題と連動するのだ」とのお考えを拝聴し、大変感銘を受けた。この青少年への事業は、今後当医師会の事業としても実施することとし、近日根室市で開催する予定である。市や教育委員会と連携して行う事業は当会としては初めての試みである。また中標津町では周産期救急研修会や緩和ケア研修会を、別海町では町民フォーラムを毎年実施している。当会活動が地域医療の向上に少しでも役立てばと思うところである。